特集にあたって

今日、人口減少と高齢化が急速に進行し、中山間地域では地域コミュニティの存続そのものが危ぶまれる地域も出ています。都市部でも人間関係が希薄になる中で高齢化が進み、災害時要援護者や買物難民への対応といった新たな課題も発生しています。

えひめ地域政策研究センターの調査研究情報誌『E C P R』では、平成12年の創刊以来、様々な地域課題について特集を組み、研究者の論文、地域の実践者や行政関係者の報告等を掲載、行政・関係機関へ提言を行ってきました。

特集テーマは、「地方自治」「過疎」「地域産業」「防災・危機管理」「環境」「文化」「スポーツ」など多岐にわたっており、これは地域が多様な課題を抱えていることを反映している一方で、地域活性化の糸口も多様であると積極的にとらえることも可能であろうと考えます。

今回の『E C P R』は、地域の現状と課題を改めて整理するとともに、今後の地域政策・地域づくりを展望することを目的に、地元大学の若手研究者の提言集として発行することといたしました。様々な分野の10名の方の論文を掲載させていただきましたが、いずれも現状を鋭く分析するとともに、具体的な取り組みを提案する示唆に富んだ内容となっており、御協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。

是非ご一読いただき、それぞれの分野において、今後の取り組みの参考にさせていただきたいと考えます。

また、今後、地域づくりの様々な分野で、研究者と実践・活動者、関係機関・団体の交流が促進され、愛媛の地域政策・地域づくりに関する議論が活発化されることを願います。

えひめ地域政策研究センター
所長・専務理事 森 敏明